

粉末冶金

第427号

7



JPMA NEWS

2026

Make a better world with PM

2025 年度工業会賞

原料賞



高強度焼結材の製造を実現する Ni フリー低合金鋼粉
JFE スチール株式会社

JPMA 日本粉末冶金工業会

会長就任のご挨拶

会 長
菊池 正史[ポーライト株式会社
代表取締役社長]

このたび、2026 年 5 月開催の定時総会におきまして、皆様のご推挙を賜り、日本粉末冶金工業会の会長に就任いたしました。長い歴史と伝統を有する本会の会長という重責をお預かりすることとなり、大変光栄に存じますとともに、その責任の重さをあらためて感じております。微力ではございますが、会員の皆様と力を合わせ、日本粉末冶金工業会ならびに粉末冶金産業の発展に尽力してまいる所存です。何卒ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、世界経済に目を向けますと、地政学的リスクの長期化や国際情勢の不安定化、資源・エネルギー価格の変動、各国の金融政策の転換など、先行きの不透明感は依然として強い状況にあります。一方で、デジタル化や脱炭素に向けた投資、新たな産業構造への移行も着実に進んでおり、変化の中に新たな成長機会が生まれている時代とも言えます。

日本経済は、コロナ禍からの回復過程を経て、緩やかな成長基調を維持しているものの、少子高齢化や労働力不足、物価上昇など、構造的な課題を抱えています。国際競争力の観点からは、技術力の維持・強化、人材育成、研究開発投資の重要性がこれまで以上に高まっています。資源に乏しい我が国が持続的に成長していくためには、「ものづくり」を中核とした産業競争力の強化が不可欠であり、その基盤を支える技術の高度化と付加価値の創出が求められています。

私たち粉末冶金業界を取り巻く環境も、大きな転換期にあります。主要な需要先である自動車産業は電動化や次世代モビリティへの移行期にあり、製品・技術に対する要求は高度化・多様化しています。同時に、粉末冶金技術は、省資源・高歩留まり・高機能化を実現できる製造技術として、脱炭素社会の実現に貢献できる大きな可能性を秘めています。このような環境変化に柔軟に対応し、新たな用途や市場を切り拓いていくことが、業界全体の持続的発展につながるものと考えています。

日本粉末冶金工業会としては、これまで築き上げてきたレガシーの上に安住するだけでは、将来の成長は望めないと認識しています。とりわけアジア諸国をはじめとする海外では、研究開発から量産化までのスピードが飛躍的に高まり、技術力も急速に向上しています。これらを脅威として捉えるだけでなく、そのスピード感や取り組み姿勢を正当に評価し、学ぶべき点は謙虚に学び、我が国の強みと融合させていくことが重要です。本会としても、会員各社の知見を結集し、技術力の向上、人材育成、国内外との連携強化を通じて、新たな価値創出に取り組んでまいります。

変化の激しい時代において、業界が持続的に発展していくためには、変化を的確に捉え、柔軟に対応していく姿勢が不可欠です。日本粉末冶金工業会が、会員の皆様にとって価値ある存在であり続けられるよう、誠心誠意取り組んでまいります。

最後になりましたが、会員各位の一層のご理解とご協力をお願い申し上げるとともに、粉末冶金産業のさらなる発展を心より祈念し、会長就任の挨拶とさせていただきます。

バイндаの役割

私は、金属粉末射出成形（MIM）や、焼結を行う AM 法のなかの、バイндаジェット（BJT）、材料押出法（MEX）といった、バイндаを使用する粉末冶金の研究をしています。バイндаという言葉の意味は、結合するもの、つなぎ合わせるもの、というようなものです。プレス焼結でもバイндаは多少使用されると思いますが、MIM の場合は、焼結前は体積の 25% 程度から、多いと半分程度がバイндаです。MIM のバイндаの役割は、金属粉末と密着し、射出成形時に流動させ、冷却・固化した後にハンドリング可能な強度を持たせ、さらに脱脂時には変形を抑制しながら、最終的に完全に消失するというものです。MEX も MIM と同様で、形状を作製するための流動性や、固化した後の形状保持をします。BJT の場合は粉末床に形状に合わせてバイндаを噴射し、粉末同士をつないで形を保ちます。いずれも焼結するまで非常に大事な仕事をしています。

私はもともと金属系の出身ではなく、高分子材料、プラスチックの複合材料の研究をしていました。ある日突然、「金属と樹脂の射出成形をやらないか」、（金属なんて硬いものはよくわからないのですが・・・）、「材料やったらみんな一緒や！」（注：作って壊して評価して・・・という実験の進め方は同じだという意味です）と、いう荒っぽいお誘いを受け、MIM の研究を始めることになりました。MIM はご存知の通り、プラスチックの射出成形と、粉末冶金の焼結を組み合わせた技術です。MIM メーカーを見てみると、金属材料の加工や熱処理などとともに MIM をやっている企業、プラスチックの射出成形から始めた企業、に分けることができていると思いますが、私は後者のプラスチックから始めたほうということになります。ただ、私のやっていたプラスチックは、熱硬化性という加熱することで硬くなる材料で、MIM のバイндаに使うものは、熱可塑性という加熱すると溶け、温度が下がると固まるタイプのもので、全く別のものでした。材料も成形も焼結も全くわかっていない状態でしたが、当時、社会人博士課程で勉強してきなさいと、九州大学の三浦秀士先生の研究室に送り出してくれた会社には、大変感謝をしております。その後、九州大学、現在は東京都立大学で研究を続けることができています。

ところでプラスチックと言うと、レジ袋に使われているポリエチレン（PE）は有名かと思います。百円ショップで見かけるプラスチック製品にも PE は多いです。MIM のバイндаにもよく使用されています。ただ一言で PE と言っても、分子量などの違いで、様々な特性を示します。現状 MIM のバイндаは、ある程度できあがったものを少しずつ改良する、例えば、分子量の異なる PE を使ってみる、というような状態ですが、脱脂方法、例えば超短時間で脱脂ができる、というような画期的な方法なども併せて、最適なバイндаとプロセスの組合せなどを検討したいと思っています。また今この原稿を書いている時点では、中東情勢の影響でナフサ問題が起こっており、プラスチック製品への影響が懸念されています。バイнда量をできるだけ減らす、バイндаを再利用する、というようなことについても、研究したいと思っています。

若輩者ながら工業会で評議員を務めさせていただいているのは、バイндаが「つないで」くれたありがたいご縁です。MIM の研究は、国内最後の砦となっても続けていきたいと思っています。また今は、NEDO の AM のプロジェクトで、BJT の開発と社会実装を進める研究にも取り組んでおり、このような技術でもまた工業会の発展に寄与できればと考えています。さらに今年度から、粉体粉末冶金協会でも再編された分科会の一つ、射出成形・焼結 AM のグループで、事務局を担当することになりました。ご興味をお持ちの方はぜひご連絡頂ければと思います。私自身が工業会のバイндаとして、産学官をただつなぐだけでなく、MIM のバイндаのようないろいろな仕事もできればと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



評議員

長田 稔子

東京都立大学
システムデザイン学部
機械システム工学科
特任助教

告知板

入会

賛助会員（5 月 1 日）

[株式会社エム・エム・ジェー](#)

株式会社エム・エム・ジェー

賛助会員（6 月 1 日）

[韓国玉川機械株式会社](#)

会員情報

東京本社移転

株式会社神戸製鋼所 〒108-8688 東京都港区高輪 2 - 22 - 1 THE LINKPILLAR 2

優良従業員表彰候補者推薦募集（会員限定）

2026 年度日本粉末冶金工業会優良従業員表彰候補者推薦受付を開始しました。期限は 7 月 29 日（水）です。

本表彰は、粉末冶金関係の製造現場で、多年にわたり、当業界の発展に貢献された方を表彰し、製造現場の方の勤務の励みにすることを目的にしたものです。1995 年度に発足し、推薦は正会員・特別会員に限定されます。昨年度は 10 社から 13 名の方が受賞されました。今年度も多数のご推薦をお願いいたします。

詳細推薦要領は、7 月 3 日に会員連絡担当者宛へメール送付しております「候補者推薦依頼について」をご覧ください。

2025 年度工業会年報発行（会員、非会員、一般）

「2025 年度日本粉末冶金工業会年報」を 7 月 15 日に発行しました。A4 版 36 頁。

本年報には、2025 年度の生産状況（粉末冶金製品・原料粉末）、海外進出状況、世界の生産状況、工業会の動き、工業会各賞、協賛広告等を掲載しています。

会員及び教育機関、需要家等に幅広く配布いたしておりますが、社内、販売代理店当の教育資料としても是非ご活用下さい。なお、一般の方もご購入いただけます。詳細は工業会 Website の[発行冊子申込](#)をご確認下さい。

工業会 Website 掲載情報更新受付中（会員限定）

工業会 Website の定期更新情報提供の受付を開始しました。本案内は、工業会 Website に新しい情報を織り込んで、その充実化を目指しております。各社 PR にお役立ていただけるコンテンツもございますので、情報を提供いただきますようお願いいたします。提出期限は 8 月 31 日（月）です。詳細は事務局（info@jpma.gr.jp）までご連絡下さい。

- ・ [会員一覧](#)・・・会員一覧から各社 Website にリンクします。（リンク先の変更があれば提示下さい。）
- ・ [会員各社最新情報](#)・・・新製品（用途、技術含む）を社名入りで紹介いたします。
- ・ [こんなところに粉末冶金](#)・・・一般の方が粉末冶金に興味を持っていただくことを目的に製品を紹介しています。
- ・ [VA 事例紹介](#)・・・粉末冶金採用拡大を目的に VA 事例を紹介しています。
- ・ [会員企業 採用情報](#)・・・各社の採用情報を紹介します。（正会員限定）

会議スケジュール

常任理事会

7月16日 工業会会議室

常設委員会・部会

工業会賞選考委員会

7月30日 Web 会議 (仮)

8月18日 工業会会議室

業務委員会

8月3日 工業会会議室

総務・広報部会

8月3日 工業会会議室

焼結機械部品技術委員会

9月10日 Web 会議

軸受部会

9月3日 Web 会議

プレス技術委員会

9月18日 コータキ精機(株)

射出成形粉末冶金委員会

8月21日 工業会会議室

国際規格委員会

7月28日 工業会会議室

環境委員会

8月28日 工業会会議室

第 5 回粉末冶金基本講座 (Web 開催)

対象：会員

本講座は、広報部会主催で粉末冶金産業における人材育成を目的に 2022 年度から開設した講座です。

講座は昨年同様下記、3 コース制です。

■開催日程

A コース (入門編 & 基本編)

：9月8日、15日

B コース (入門編)：9月8日

C コース (基本編)：9月15日

■講師

藤長政志氏 (当会アドバイザー)

■講座の目的

さまざまな粉末冶金の基礎に関する講座がありますが、聴講対象者は大学などで金属や物質の成り立ちについて知識を有している方が前提の内容でした。

本講座は、金属の粉末冶金の世界で働く皆さんに知っておいて欲しい事柄を、基礎知識 (高校理科のレベル) から身つけていただき、それらの講座が扱わない、日常の業務遂行に必要な知識と、仕事の幅を広げるための教養が得られるよう構成しております。

粉末冶金に携わる方々の基礎知識習得には最適な講座であり、製品製造メーカー以外の原料、設備、商社の方でも理解いただける内容です。

■このような方々へ受講をお勧めします。

- ・社内研修を終えた新入社員の次段階への教育
- ・中堅が今更聞けない基本事項の復習
- ・新しい課題に取り組むための幅広い知識の確認

※受講案内の詳細は、7月に会員連絡担当者宛にご案内いたします。



JPMA 日本粉末冶金工業会

講座の内容

全ての基本

- ◇ 粉末冶金とは何か
- ◇ 単位と表記

粉末冶金の理解のための基礎科学

- ◇ 物質の成り立ち、金属とは何か
- ◇ 焼結とはどんな現象か
- ◇ 鉄と銅の有用性

粉末冶金の立ち位置

- ◇ 他工法との比較
- ◇ 粉末冶金の市場
- ◇ 粉末冶金の法律と規格

粉末の製造

- ◇ 鉄粉、銅粉の製造法と粉末の特徴
- ◇ 粉末の品質と評価方法

軸受の製造

- ◇ 軸受の形式と機能
- ◇ 焼結含油軸受の製造工程と適用

焼結機械部品の製造

- ◇ 焼結機械部品の製造工程と適用
- ◇ 磁性材料とステンレス

新しい粉末冶金と今後の展開

- ◇ MIMと積層造形
- ◇ カーボンニュートラルと粉末冶金

【ご参考：昨年の実施内容】

委員会の動き

常任理事会

4月17日 工業会会議室

- (1) 工業会運営方針の審議と承認。
- (2) 2025 年度収支、2026 年度予算の承認。
- (3) 役員等の選任の承認。
- (4) 工業会賞選考委員会委員委嘱の承認。
- (5) 2026 年度工業会賞募集の確認。
- (6) 定時総会段取りの承認。
- (7) ISO 会議派遣者の承認。
- (8) 常任理事会・歓送迎会実施方針の承認。
- (9) 秋季総会実施方針の承認。
- (10) World PM2026、APMA 理事会对応の確認。

常設委員会・部会

業務委員会

6月4日 Hybrid 会議

- (1) 粉末冶金交流会の振り返りと方針の審議。
- (2) 優良従業員表彰方針の審議。
- (3) 秋季総会開催方針の審議。
- (4) コンプライアンス監査結果の報告。
- (5) 効率化事例発表会／原料粉・設備関連製品 PR 会方針の審議。
- (6) 焼結部品概要改定進め方の審議。
- (7) 新年賀詞交歓会方針の審議。
- (8) 人材育成セミナー開催方針の審議。
- (9) 粉末冶金基本講座の開催方針の審議。
- (10) 工業会主要行事日程の報告。
- (11) 業務委員会見学会等の実施方針の報告。

総務・広報部会

6月4日 Hybrid 会議

- (1) 2026 年度工業会運営について審議。
- (2) 粉末冶金交流会の振り返りと方針の審議。
- (3) 優良従業員表彰方針の審議。
- (4) 秋季総会開催方針の審議。
- (5) コンプライアンス監査結果の報告。
- (6) 効率化事例発表会／原料粉・設備関連製品 PR 会方針の審議。
- (7) 常任理事会歓送迎会方針の審議。
- (8) 焼結部品概要改定進め方の審議。
- (9) 新年賀詞交歓会方針の審議。

- (10) 人材育成セミナーの段取りの審議。
- (11) 粉末冶金基本講座の開催方針の審議。
- (12) World PM PM2026 モントリオールの日程説明。

焼結機械部品技術委員会

6月16日 工業会会議室

- (1) ISO 投票方針の決定。
- (2) 粗さ標準化報告書最終確認及び今後の進め方について意見交換を実施。
- (3) 「焼結機械構造用部品用焼結材料の特性」改訂方針の決定。
- (4) 「焼結部品概要」執筆割振りを決定。
- (5) 工場見学の候補を選定。
- (6) MPIF Standard 35-SP の紹介。

軸受部会

5月21日 工業会会議室

- (1) 「焼結部品概要」改訂内容の確認。
- (2) 内径測定方法 Q&A 案の確認及び意見交換を実施。
- (3) JIS Z 2507 焼結軸受 - 圧環強さ試験方法及び各社試験状況の確認。
- (4) Website 掲載 (CN、電動化に貢献する焼結含油軸受製品事例の) 選定。

プレス技術委員会

6月19日 工業会会議室

- (1) トラブル事例の紹介順番の決定。
- (2) プレスの構造や機能についてプレスメーカーから紹介。
- (3) プレスに関する情報収集の活動内容について意見交換を実施。
- (4) プレスに関する現場の困り事の抽出と改善案について調査する項目を選定。

原料粉末技術委員会

4月13日 Hybrid 会議

- (1) 工場見学内容確認。
- (2) 「焼結部品概要」改訂方針の決定。
- (3) ISO 及び JPMA 規格からの JIS 化の必要性について意見交換を実施。
- (4) JIS Z 2511 抗折試験による圧粉体強さ測定

方法 JIS 改訂案の承認。

(5) 話題紹介

「DOWA グループカーボンニュートラルへの取り組み」

「電解液に添加したバナジウムイオンが電解銅粉に与える影響」

「CO₂ 削減の取り組み」

射出成形粉末冶金委員会

5 月 11 日 工業会会議室

- (1) MIM 講習会 - 中級編振り返り及び次回初級編開催方針の決定。
- (2) MIM 共同展示、出展企業の決定。
- (3) 「焼結部品概要」執筆担当者の決定。

国際規格委員会

6 月 18 日 Hybrid 会議

- (1) ISO 投票案件、活動状況について報告。
- (2) 2026 ISO 会議対応について意見交換を実施。
- (3) MPIF 規格関連規格確認。

JIS 原案作成委員会

第 3 回 JIS 原案作成委員会

4 月 10 日 工業会会議室

- (1) JIS Z 2550 改正原案の最終確認及び承認。
- (2) JIS Z 2511 改正原案の検討。

第 4 回 JIS 原案作成委員会

5 月 22 日 書面審議

- (1) JIS Z 2511 改正原案の最終確認を実施。

ISO 会議

ISO/TC119 (粉末冶金) 会議

6 月 22 日～ 24 日 アメリカ・ペンシルベニア

※当会から 6 名、Web 参加

- (1) TC119/SC2 (原料粉末) 会議
- (2) TC119/SC3 (焼結金属材料) 会議
- (3) TC119/SC5 (焼結材料仕様) 会議
- (4) TC119Plenary (全体会議)

工業会賞受賞記念特別セッション

対象：会員、非会員、ユーザー（一般）

5 月 26 日から 28 日まで大阪大学コンベンションセンターにて、(一社) 粉体粉末冶金協会の 2026 年度春季大会 (第 137 回講演大会) が開催され、初日の 26 日に「日本粉末冶金工業会賞受賞記念特別セッション」を行いました。

本セッションは、協会と当会の連携強化の一貫として 1996 年春季大会から協会のご協力を得て、毎年実施しています。

当日は、初めに 2025 年度工業会賞選考委員会委員長の伊井浩氏 (ダイヤメット・代表取締役社長) から挨拶がなされ、座長の松本幸久氏 (2025 年度工業会賞選考委員会委員長代行) に進行いただき、新製品賞・デザイン部門 1 件、製法開発部門 2 件、原料賞 1 件及び奨励賞 1 件の計 5 件の発表が行われました。

本セッションは協会春季大会関係者、研究者、ユーザー、当会会員など多くの方々に参加いただき、今回も活発な質疑応答がなされました。

なお、受賞製品の概要は、協会のご協力により、協会誌『粉体および粉末冶金』の第 Vol.73 巻第 No.3・4 号に掲載いただきました。



【伊井委員長】



【セッション会場】

2026 年度 定時総会

対象：会員

5月22日、機械振興会館（東京都港区）において理事会及び定時総会を開催しました。

理事会、定時総会は園田会長が議長として議事を進行しました。

冒頭、経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長補佐 長谷川大晃氏から「素形材産業をめぐる施策動向について」の概要説明及びご挨拶をいただきました。



【長谷川室長補佐】

1. 理事会

- (1) 第1号議案「2025年度事業報告」、第2号議案「2025年度収支決算報告」

両議案を一括審議。専務理事から資料により事業報告を説明、また収支決算についてはPM記念基金特別会計収支決算を含め説明。次いで、清水監事から4月14日に実施の監査報告がなされました。

審議の結果、両議案とも承認されました。

- (2) 第3号議案「2026年度事業計画」、第4号議案「2026年度予算」

両議案を一括審議。専務理事から資料により事業計画及び予算を説明。事業計画は「粉末冶金産業ビジョン」のアクションプランとの関連も含め説明。審議の結果、両議案とも承認されました。

2. 定時総会

- (1) 第1号議案「2025年度事業報告」、第2号議案「2025年度収支決算報告」、理事会で承認された2議案を一括上程、異議なく承認されました。

- (2) 第3号議案「役員の選任」

任期満了に伴う2026-2027年度の理事及び監事の選任を行ない、理事は、新任として平井氏（太陽金網）、園田氏（福田金属箔粉工業）の退任に伴う後任として福田氏（福田金属箔粉工業）、監事は清水氏（NTNアドバンストマテリアルズ）の退任に伴う後任として小松氏（ナパック）、他は留任とする案が承認され、次いで理事の中から、新会長に菊池正史氏（ポーライト）が全会一致で選任されました。また、顧問は尾崎由紀子氏（大阪大学）、評議員は野村直之氏（東北大学大学院）、小橋眞氏（名古屋大学大学院）（いずれも新任）が選任されました。

- (3) 第4号議案「2026年度事業計画」、第5号議案「2026年度予算」

理事会で承認された両議案を一括上程、異議なく承認されました。以降は、澤山専務理事司会により新任、退任、新入会会員、総会初出席の方々からご挨拶をいただきました。



【菊池新会長】

3. 講演会

総会終業後、当会ISOアドバイザー・武田義信氏から「PM 構造部品の持続可能性と競争力を向上させるための検討事項とソリューション、欧州と日本の見解」と題し、講演をいただきました。2024年PM World Congress Yokohamaでの招待講演の内容をアップデートしたものです



【講演：武田義信氏】

が、世界の PM 分野で広く知られた武田氏を含む日欧の技術者による共著の論文を元にしたものであり、エネルギー消費や環境対応への考え方を分かりやすく段階的に説明していただきました。終了後、参加者から活発な質疑が行われ、本講演への関心の高さが伺えました。

次いで、懇親会を開催しました。経済産業省素形材産業室の方々にもご出席をいただくなか、粉末冶金業界の会員皆様方と和気藹々と歓談され、閉会となりました。今回の総会・懇親会出席者は 62 名、うち会員は 33 社 56 名。

原料粉末技術委員会工場見学 「株式会社ツルオカ」

対象：原料粉末技術委員会委員

原料粉末技術委員会は、リサイクルに関する情報収集を目的に、6 月 5 日金属リサイクル事業者である株式会社ツルオカ 小山事業所（栃木県小山市）を見学しました。

見学には原料粉末技術委員会委員 8 名、関係者 1 名、事務局 1 名、総勢 10 名が参加しました。

当日は、総務本部執行役委員・堤庸佐氏、オートリサイクル事業部工場長・栗原大介氏に対応いただき、同社・事業所紹介をいただきました。次いでオートリサイクル事業部、金属原料事業部及びカウンターウェイト事業部の見学を行いました。オートリサイクル事業部では、日本で 4,000 社ある解体事業者の中で 3 社しかないライン化した解体工程の説明いただきました。見学終了後、参加者から鉄、アルミ、銅、樹脂など主要原料以外のリサイクル（焼結品、ステンレス材等）について質疑が行われ有意義な見学会となりました。今後も原料粉末技術委員会では本活動を継続していきます。

なお、今回の工場見学は、JFE スチール・高下様のご紹介により実現したものです。この場をお借りしてお礼申し上げます。



【オートリサイクル事業部】



【カウンターウェイト事業部】

業務委員会見学会

「TOTO 小倉（衛陶）工場、TOTO ミュージアム」

対象：会員

6 月 11 日、恒例となる業務委員会見学会を開催しました。

今回は、ヘガネスジャパン株式会社、株式会社リードハンマー・ジャパンのご紹介により、福岡県北九州市小倉北区にある、TOTO 小倉（衛陶）工場を訪問しました。当日は、業務委員会から 11 社 15 名、賛助会員会社から 2 社 4 名、粉体粉末冶金協会から 2 名、工業会事務局 2 名の計 23 名が参加しました。

小倉駅からタクシーで約 10 分の場所に位置する TOTO 小倉（衛陶）工場では、便器などの衛生陶器の成形・施釉・焼成・検査に至る一連の工程を、元 TOTO USA 社長の石川秀美氏に説明いただき見学しました。特に、大型製品がどのように形状を保ちながら固化・焼結されていくのかを間近で学ぶことができましたが、成形工程では便座部と本体を一つひとつ人の手で接着し、施釉工程では人が釉薬を均一に塗布するなど、陶芸作品を製作するかのように、人の手による丁寧な作業が行われていることに参加者の関心が集まりました。また、トンネル窯を使用し、高温で長時間かけて焼成している工程も見学させていただきました。

続いて訪れた [TOTO ミュージアム](#) では、TOTO の創業精神、ものづくりの歴史、技術の進化が体系的に展示されており、初期の陶器製品から最新のウォシュレットまで、多彩な実物展示を見学しました。

映像・模型・年表などを通じて、生活文化の変遷と TOTO の技術発展を理解することができ、参加者にとって大変有意義な時間となりました。

今回の見学会は、TOTO 株式会社様の万全の準備と温かいご対応により、非常に実りあるものとなりました。

本見学会の実施にご協力いただきました TOTO 株式会社様ならびに関係者の皆様に、ここに厚く御礼申し上げます。



【TOTO ミュージアム（記念撮影）】



【TOTO ミュージアム外観（出典：TOTO 株式会社）】

2025 年度 焼結品需要構造調査結果

当会業務委員会では、粉末冶金製品の需要構造を的確に捉え、今後の市場開拓の参考にするため 1980 年度から「焼結品需要構造調査」を実施しています。

2025 年度の集計結果がまとまりましたので、詳細は会員向け発送資料（6 月 30 日付）をご覧ください。本紙には、集計結果表のみを掲載いたします。

表 1 焼結機械部品（2025 年度）

需要先機械別			生産量(t)	前年度比(%)	構成比(%)
輸送機械用	自動車	四輪車	56,601	98.4	93.1
		二輪車	780	103.2	1.3
		小計	57,381	98.4	94.3
		その他	184	104.5	0.3
		計	57,564	98.5	94.6
産業機械用		建設機械	1,053	109.0	1.7
		汎用エンジン	312	108.8	0.5
		工作機械	251	118.8	0.4
		油圧機械	167	99.7	0.3
		農業機械	105	101.6	0.2
		事務機械	59	99.1	0.1
		その他	233	101.5	0.4
		計	2,178	107.7	3.6
電気機械用		エアコンディショナー	421	106.7	0.7
		電動工具	29	99.9	0.0
		マイクロモータ	19	99.8	0.0
		電気冷蔵庫	18	105.9	0.0
		コンピュータ周辺機器	6	105.3	0.0
		ステッピングモータ	3	103.7	0.0
		電気洗濯機	4	102.3	0.0
		換気扇	3	105.3	0.0
		その他	118	76.0	0.2
		計	621	98.6	1.0
その他用計			456	109.8	0.8
合計			60,820	98.8	100.0

表 2 焼結軸受合金（2025 年度）

需要先機械別			生産量(t)	前年度比(%)	構成比(%)
輸送機械用	自動車	四輪車	2,868	102.2	73.6
		二輪車	183	111.7	4.7
		小計	3,052	102.7	78.3
		その他	10	110.0	0.3
		計	3,062	102.8	78.6
産業機械用		建設機械	193	108.6	5.0
		事務機械	104	95.9	2.7
		工作機械	24	119.9	0.6
		農業機械	18	126.1	0.5
		その他	29	75.7	0.7
		計	368	102.6	9.4
電気機械用		コンピュータ周辺機器	121	116.6	3.1
		マイクロモータ	75	96.2	1.9
		ステッピングモータ	59	86.0	1.5
		電気冷蔵庫	37	100.5	1.0
		電動工具	33	100.4	0.8
		電気洗濯機	24	105.0	0.6
		音響機器	24	100.6	0.6
		家庭用 VTR	20	100.6	0.5
		エアコンディショナー	19	106.2	0.5
		換気扇	11	92.1	0.3
		その他	46	96.2	1.2
		計	467	101.0	12.0
その他用計			1	82.8	0.0
合計			3,898	102.6	100.0

表 3 粉末冶金用原料粉出荷量（2025 年度）

納入先系統別			出荷量 (t)			前年度比 (%)		構成比 (%)		
			2023 年度	2024 年度	2025 年度	2024 年度	2025 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
鉄粉	内製向け	自動車関係	7,413	5,788	5,089	78.1	87.9	9.7	7.9	6.9
		その他	—	—	—	—	—	—	—	—
		計	7,413	5,788	5,089	78.1	87.9	9.7	7.9	6.9
	外販企業向け	69,226	67,451	68,511	97.4	101.6	90.3	92.1	93.1	
	合計	76,640	73,239	73,600	95.6	100.5	100.0	100.0	100.0	
銅粉	内製向け	自動車関係	1	1	1	100.0	80.0	0.0	0.0	0.0
		その他	—	—	—	—	—	—	—	—
		計	1	1	1	100.0	80.0	0.0	0.0	0.0
	外販企業向け	3,570	3,514	3,926	98.4	111.7	100.0	100.0	100.0	
	合計	3,571	3,515	3,927	98.4	111.7	100.0	100.0	100.0	
ステンレス鋼粉			1,545	1,385	1,336	89.7	96.5	—	—	—
M I M 用原料粉			329	391	443	118.9	113.2	—	—	—

工業会統計

年 月	粉末冶金製品生産金額 (百万円)							原料粉出荷量 (トン)	
	軸受合金	機械部品	摩擦材料	電気接点	集電材料	その他	合 計	鉄 粉	銅 粉
2021 年度	1,415	8,904	635	3	132	453	11,543	8,070	374
2022 〃	1,252	8,247	676	2	149	453	10,779	7,193	302
2023 〃	1,342	8,553	617	2	140	449	11,103	6,346	289
2024 〃	1,285	8,027	749	3	196	468	10,729	6,069	284
2025 〃	1,362	8,178	740	2	206	504	10,993	6,084	230
前年度比%	106	101	99	76	105	110	102	100	117
2025 年 5月	1,165	7,676	749	1	188	444	10,224	6,045	205
6月	1,372	8,320	775	0	182	509	11,159	7,170	237
7月	1,557	9,096	806	0	202	523	12,184	6,440	267
8月	1,262	6,652	605	4	180	380	9,084	4,599	204
9月	1,546	8,700	739	3	208	527	11,722	5,864	238
10月	1,452	8,967	763	0	234	545	11,961	6,549	234
11月	1,337	7,841	667	6	194	524	10,570	6,227	243
12月	1,366	8,049	736	0	236	521	10,908	5,099	216
2026 年 1月	1,286	7,803	740	3	215	508	10,554	6,063	214
2月	1,323	8,191	706	1	239	513	10,972	6,162	229
3月	1,415	9,185	859	3	184	562	12,209	7,469	231
4月	1,267	8,325	721	1	238	471	11,024	4,954	242
5月	1,282	7,452	653	5	202	353	9,948	5,557	220
前年同月比%	107	98	87	704	107	95	99	92	107

(注 1) 「その他」は磁性材料硬質も含む。

(注 2) 生産金額は消費税を含む。

(注 3) 前年比・前年同月比は同一企業数で計算。

(注 4) 前年度比、前年同月比は消費税抜きの金額で比較。

暑中お見舞い申し上げます

株式会社モック

代表取締役 大塚 政 義

所在地：大阪府寝屋川市仁和寺本町 3-3-1

URL：www.mokc.jp

株式会社ニューメタルス・エンド・ケミカルス・コーポレーション

代表取締役社長 植 元 淑 雄

所在地：東京都中央区京橋 1-2-5 京橋 TD ビル

URL：www.newmetals.co.jp/

東邦チタニウム株式会社

所在地：神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-3-5

URL：www.toho-titanium.co.jp

株式会社中央発明研究所

代表取締役社長 曾 我 夏 人

所在地：東京都西多摩郡瑞穂町二本木 539

URL：www.chuhatsu.co.jp/

暑中お見舞い申し上げます

Osterwalder Japan 株式会社

サービス部部长 加倉井 章一郎

所在地：東京都港区西新橋 1-2-9

日比谷セントラルビル 14F

URL：www.osterwalder.com/ja/**Ipsen 株式会社**

代表取締役 星 野 雅 志

所在地：大阪市鶴見区安田 2-3-2

URL：www.ipsenglobal.com**株式会社アドテックエンジニアリング**

代表取締役社長 竹 田 幸一郎

所在地：東京都港区三田 3-5-19

住友不動産東京三田ガーデンタワー 31 階

URL：www.adtec.com/**小林工業株式会社**

代表取締役社長 佐 藤 正 樹

所在地：秋田県由利本荘市石脇字赤ハゲ 1-372

URL：www.kobayashi-akita.co.jp**株式会社ヤマザキ電機**

代表取締役 吉 田 和 夫

所在地：埼玉県坂戸市小山 123

URL：www.yamazaki-denki.co.jp**三菱マテリアルテクノ株式会社**装置事業部 今 野 忠 雄
事業部長

所在地：東京都台東区台東 1-30-7

秋葉原アイマークビル

URL：www.mmtec.co.jp/**株式会社タナカカメ**

代表取締役社長 牧 野 耕 二

所在地：大阪府枚方市招提田近 1-3

URL：www.came.co.jp**太陽金網株式会社**

代表取締役社長 平 井 裕 晃

所在地：大阪市中央区南船場 1-11-7

URL：www.twc-net.co.jp/**コータキ精機株式会社**

代表取締役社長 小 黒 二 郎

所在地：静岡県駿東郡長泉町下長窪 1032

URL：www.kohtaki.co.jp**三菱製鋼株式会社**執行役員 深 澤 秀 一
素形材事業部長

所在地：東京都中央区月島 4-16-13

URL：www.mitsubishisteel.co.jp/**ヘガネスジャパン株式会社**

代表取締役社長 飯 沼 寛 子

所在地：東京都千代田区大手町 2-6-4

TOKYO TORCH 常盤橋タワー 915 区

URL：www.hoganas.com/ja/**福田金属箔粉工業株式会社**

代表取締役会長 園 田 修 三

代表取締役社長 福 田 宏 樹

所在地：京都市山科区西野山中臣町 20

URL：www.fukuda-kyoto.co.jp

暑中お見舞い申し上げます

日本アトマイズ加工株式会社

代表取締役社長 遠藤 誠二

所在地：千葉県野田市西三ヶ尾 87-16

URL：www.atomize.co.jp

DOWA IP クリエイション株式会社

代表取締役社長 山田 進一

所在地：岡山県岡山市南区築港栄町 7

URL：www.dowa-ip.co.jp

DOWA エレクトロニクス株式会社

取締役
機能材料事業部長 西口 兼史

所在地：千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX ビル

URL：www.dowa-electronics.co.jp

大同特殊鋼株式会社

常務執行役員 永谷 哲洋

所在地：東京都港区港南 1-6-35

URL：www.daido.co.jp

JFE スチール株式会社

鉄粉セクター
副セクター長 鈴木 良知

所在地：東京都千代田区内幸町 2-2-3

URL：www.jfe-steel.co.jp

株式会社神戸製鋼所

素形材事業部門
鉄粉ユニット長 寺井 健二

所在地：東京都品川区北品川 5-9-12

URL：www.kobelco.co.jp/

エプソンアトミックス株式会社

代表取締役社長 大塚 勇

所在地：青森県八戸市大字河原木字海岸 4-44

URL：www.atmix.co.jp/

三井金属ダイカスト株式会社

代表取締役社長 陣内 誠司

所在地：山梨県韮崎市大草町下條西割 1200

URL：www.mitsui-kinzoku.co.jp/project/diecast

ポーライト株式会社

代表取締役社長 菊池 正史

所在地：埼玉県北足立郡伊奈町小室 4852-1

URL：www.porite.co.jp/

平和産業株式会社

代表取締役 大竹 徹

所在地：埼玉県さいたま市南区文蔵 4-21-11

URL：www.peace-lon.co.jp/

株式会社ファインシンター

代表取締役社長 山口 登士也

所在地：愛知県春日井市明知町西之洞 1189-11

URL：www.fine-sinter.com

ナパック株式会社

代表取締役社長 半田 伸宏

所在地：長野県駒ヶ根市赤穂 14-1823

URL：www.napac.co.jp

暑中お見舞い申し上げます

帝国カーボン工業株式会社

代表取締役社長 畔 津 健太郎

所在地：東京都千代田区神田多町 2-8

URL：www.teikoku-c.co.jp

株式会社ダイヤモンド

代表取締役社長 伊 井 浩

所在地：新潟県新潟市東区小金町 3-1-1

URL：www.diamet.co.jp/

住友電気工業株式会社

焼結製品事業部長 井 上 慎太郎

所在地：兵庫県伊丹市昆陽北 1-1-1

URL：sumitomoelectric.com/jp/products/sintering

株式会社キャストム

代表取締役 戸 田 拓 夫

所在地：広島県福山市御幸町中津原 1808-1

URL：www.castem.co.jp

大阪冶金興業株式会社

代表取締役 寺 内 俊太郎

所在地：大阪市東淀川区瑞光 4-4-28

URL：www.osakayakin.co.jp/

NTN アドバンストマテリアルズ株式会社

代表取締役社長 武 田 毅

所在地：愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田字勝田場 101

URL：www.ntn-amc.com/

岩機ダイカスト工業株式会社

代表取締役社長 齋 藤 明 彦

所在地：宮城県亘理郡山元町鷺足字山崎 51-2

URL：www.iwakidc.co.jp/

一般社団法人粉体粉末冶金協会

会 長 長 滝 康 伸

所在地：京都市左京区下鴨森本町 15

生産開発科学研究所内

URL：www.jspm.or.jp/

日本粉末冶金工業会

専 務 理 事 澤 山 哲 也

所在地：東京都台東区台東 3-42-7

松田商事ビル 6 階

URL：www.jpma.gr.jp